

2022年度 神戸学院大学緊急学費減免 申請書

神戸学院大学長殿

記載事項に関して相違・虚偽がないことを誓約するとともに、緊急学費減免を申請します。

※ 大 学 使 用 欄	確認印	受付日

1. 申込者情報

記入日	2022 年 月 日		
学生	学部・研究科 年次		学籍番号
	フリガナ		学生 電話番号
氏名			
主たる 家計 支持者	フリガナ	続柄	主たる 家計 支持者 電話番号
	氏名		

重要事項(必ずご一読ください)

- ・必ず実施要項をよく読み、支援の趣旨や出願資格について理解したうえで申請書を作成してください。
- ・出願資格の確認の対象となるのは、主たる家計支持者1名のみです。主たる家計支持者以外の家計支持者での申請は受け付けません。
- ・家計急変を示すための新型コロナウイルス前後の所得は、以下の5つのパターンから選択することができます。
 - (1) 2019(平成31・令和元)年度分の所得 ⇔ 2021(令和3)年度分の所得
 - (2) 2020(令和2)年度分の所得 ⇔ 2021(令和3)年度分の所得
 - (3) 2019(平成31・令和元)年度分の所得 ⇔ 2022(令和4)年度分の所得見込
 - (4) 2020(令和2)年度分の所得 ⇔ 2022(令和4)年度分の所得見込
 - (5) 2021(令和3)年度分の所得 ⇔ 2022(令和4)年度分の所得見込(直近3か月分の給与明細もしくは帳簿など)

2. 新型コロナウイルスの影響を受ける前後の所得の確認

(1) 新型コロナウイルスの影響を受ける前の所得をご記入ください。

年度分 ※いずれかを選択しチェック☑	所得区分	所得を証明する書類	金額確認箇所又は計算方法	金額記入欄(単位:円)
<input type="checkbox"/> 2019(平成31・令和元) <input type="checkbox"/> 2020(令和2) <input type="checkbox"/> 2021(令和3)	給与所得	所得証明書	給与収入欄 ※給与所得ではなく 給与"収入"であることに注意!	[a]
	給与所得以外		給与所得以外の所得の合計 ※マイナスの所得である場合は0円と記入 ※給与所得は含めないことに注意!	[b]
新型コロナウイルスの影響を受ける前の所得金額 [a]と[b]の合計金額を記入				[a+b]

(2) 新型コロナウイルスの影響を受けた後の所得を当てはまる年度の欄にご記入ください。

さらに、以下①と②の所得要件を満たしているか確認してください。

<所得要件>

- ① 新型コロナウイルスの影響を受けた後の合計所得金額([c+d]の金額)が841万円以下である。
- ② 新型コロナウイルスの影響を受けた後の給与所得以外の所得([d]の金額)が355万円以下である。

年度分 ※いずれかを選択しチェック☑	所得区分	所得を証明する書類	金額確認箇所又は計算方法	金額記入欄(単位:円) ※選択した年度分の[c][d]に金額を記入
<input type="checkbox"/> 2021(令和3) <input type="checkbox"/> 2021(令和3)年度に 新型コロナウイルス感染症の影響で 失業(廃業)された方	給与所得	所得証明書	給与収入欄 ※給与所得ではなく 給与"収入"であることに注意!	[c]
	給与所得以外		給与所得以外の所得の合計 ※マイナスの所得である場合は0円と記入 ※給与所得は含めないことに注意!	[d] 要件②355万円以下
<input type="checkbox"/> 2022(令和4)	給与所得	直近3か月分の給与明細	総支給金額から通勤手当を引いた金額の 直近3か月分の合計を4倍	[c]
	給与所得以外	直近3か月分の帳簿	売上から経費を引いた金額の 直近3か月分の合計を4倍 ※マイナスの所得は0円と記入	[d] 要件②355万円以下
<input type="checkbox"/> 2022(令和4)年度に 新型コロナウイルス感染症の影響で 失業(廃業)された方	給与所得	①失業年度の源泉徴収票 (全勤務先分) 又は ②失業年度の 1月～退職日までの給与明細 (全勤務先分)	①支払金額(全勤務先分) 又は ②総支給金額から通勤手当を引いた金額の 1月～失業日までの合計(全勤務先分)	[c]
	給与所得以外	廃業年度の 1月～廃業日までの帳簿 (すべての所得分)	売上から経費を引いた金額の 1月～廃業日までの合計(すべての所得分) ※マイナスの所得は0円と記入	[d] 要件②355万円以下
新型コロナウイルスの影響を受けた後の所得金額 該当する年度分のいずれかの[c]と[d]の合計金額を記入				[c+d] 要件①841万円以下

3. 出願資格の確認（【A】【B】のうち該当するものにチェック☑してください。）

【A】新型コロナウイルスの影響を受けた後の合計所得金額（申請書1ページ目〔c+d〕の金額）が、
新型コロナウイルスの影響を受ける前の合計所得金額（申請書1ページ目〔a+b〕の金額）と比較して1/2以下になっている。

【B】新型コロナウイルスの影響による公的支援を受給しており、その証明書がある。
（下表の当てはまる公的支援の数字を右欄にご記入ください。なお（18）その他の場合は括弧内に制度名を合わせてご記入ください。）
【参考】その他で認められる公的支援は緊急学費減免に関するQ&AのA5をご確認ください。

- | | |
|--------------------------------------|------------------|
| (1) 持続化給付金 | (14) 国税・地方税の納付猶予 |
| (2) 緊急小口資金 | (15) 危機対応融資 |
| (3) 総合支援資金（生活費） | (16) 家計支援給付金 |
| (4) 新型コロナウイルス感染症特別貸付 | (17) 月次支援金 |
| (5) 小規模事業者経営改善資金（新型コロナウイルス対策マル経融資） | (18) その他 |
| (6) 生活衛生新型コロナウイルス感染症特別貸付 | () |
| (7) 生活衛生改善貸付（新型コロナウイルス対策衛経） | |
| (8) 新型コロナウイルス感染症に係る衛生環境激変対策特別貸付 | |
| (9) セーフティネット保証4号・セーフティネット保証5号・危機関連保証 | |
| (10) 小規模企業共済の特例緊急経営安定貸付 | |
| (11) 小学校休業等対応支援金（委託を受ける個人向け） | |
| (12) 厚生年金保険料・労働保険料の納付猶予 | |
| (13) 国民健康保険料・後期高齢者医療保険料・介護保険料等の徴収猶予 | |

4. 特記事項（該当項目を○で囲んでください）

- | | |
|---|--------------|
| (1) 母子家庭もしくは父子家庭ですか。 | はい / いいえ |
| (2) 自宅外通学者ですか。 | はい / いいえ |
| (3) 世帯に障がいをお持ちの方はいますか。 | はい(人) / いいえ |
| (4) 同一世帯に就学者（申込者本人を除く）がいる場合、以下の欄にご記入ください。 | |

学生との続柄	氏名	設置者	在学している学校	通学
		国公立・私立	小・中・高・高専・専修・大学・大学院	自宅・自宅外
		国公立・私立	小・中・高・高専・専修・大学・大学院	自宅・自宅外
		国公立・私立	小・中・高・高専・専修・大学・大学院	自宅・自宅外
		国公立・私立	小・中・高・高専・専修・大学・大学院	自宅・自宅外
		国公立・私立	小・中・高・高専・専修・大学・大学院	自宅・自宅外

**5. 新型コロナウイルスの影響による家計急変（減収）について具体的に記入してください。
なお、失業（廃業）された方は具体的な失業（廃業）の原因と理由を記入してください。**

この申請書に記載されている個人情報、神戸学院大学緊急学費減免に係る業務のみで利用し、その他の目的には使用しません。
また、この申請書はいかなる場合であっても返却しません。